

2021年3月期

決算説明資料

レシップホールディングス株式会社

LECIP
GROUP

2021年 5月

▶ **1. 2021年3月期 通期業績の概要:P3~P13**

■ **2. 2022年3月期 通期業績予想・配当の状況:P15~P17**

■ **3. 長期ビジョン「VISION2030」・中期経営計画「CN2023」について
:P19~P31**

■ **【ご参考資料】:P33~P43**

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 上期・下期別の業績推移
- 四半期別の業績推移

全般概況

前期比

売上高：  **大幅減収** 損益面：  **大幅減益**

セグメント別業績の概況

輸送機器



- 首都圏バス用ICカードシステムの更新需要の一巡により、運賃箱やICカードリーダーライタなどの売上が大きく減少。
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、業界全体の設備投資の抑制。

産業機器

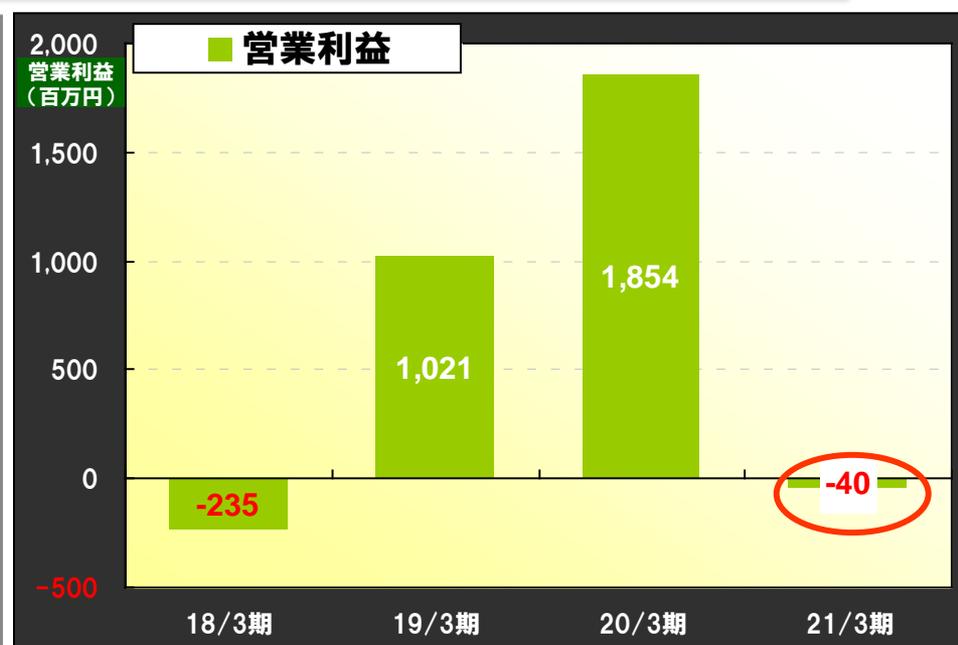
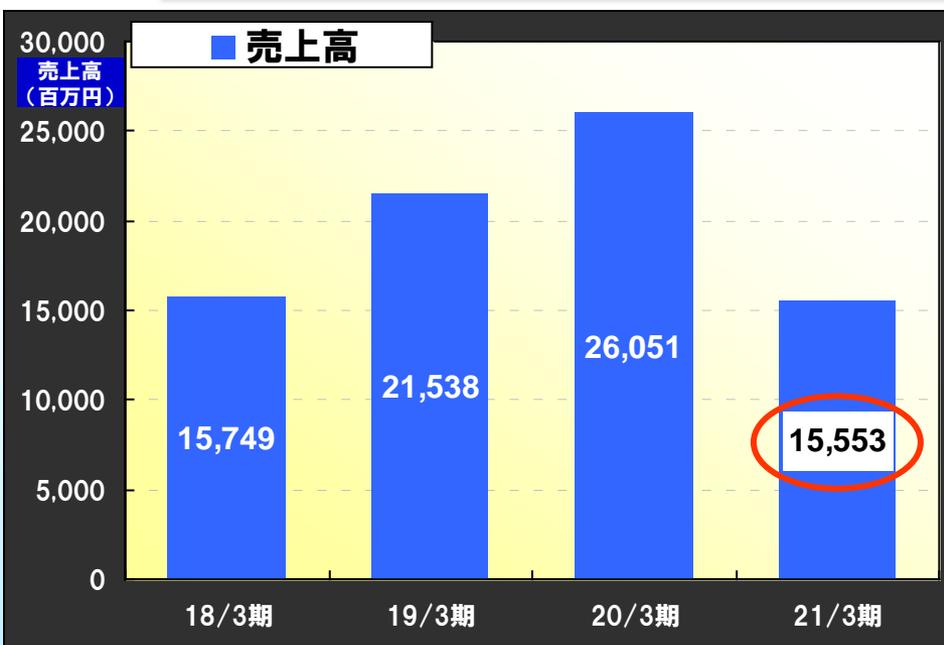
(エネルギー
マネジメントシステム)



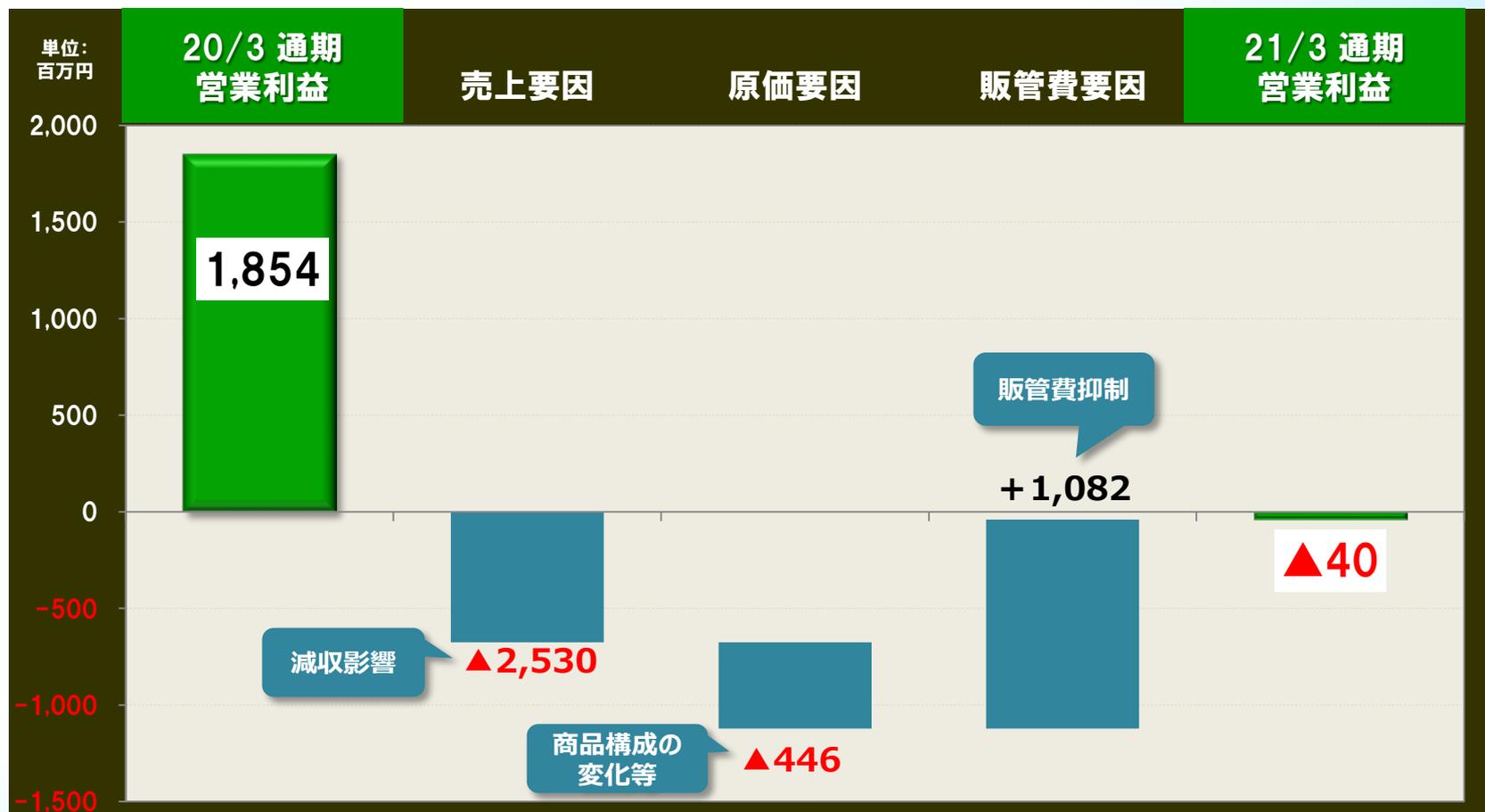
- 上期を中心に、バッテリー式フォークリフト用充電器の売上、自動車向けプリント基板実装の受託が減少。

2021年3月期：通期業績の要約

【連結】 連結業績 (単位:百万円)	2020年3月期		2021年3月期			
	通期実績	構成比	通期実績	構成比	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	26,051	100.0%	15,553	100.0%	▲10,497	▲40.3%
売上総利益	6,280	24.1%	3,303	21.2%	▲2,977	▲47.4%
営業利益	1,854	7.1%	▲40	▲0.3%	▲1,894	-
経常利益	1,830	7.0%	35	0.2%	▲1,794	▲98.0%
当期純利益	891	3.4%	▲124	▲0.8%	▲1,015	-



2021年3月期:通期 営業利益の増減要因



- 売上要因 : 主力の輸送機器事業の売上が大きく減少。
- 原価要因 : 商品構成の変化等により悪化。
- 販管費要因: 給与及び賞与、事務委託費、出張旅費、試験研究費、運送費等の減少。

2021年3月期：通期セグメント別業績

売上高 (単位:百万円)	2020年3月期 通期		2021年3月期 通期			
	通期実績	構成比	通期実績	構成比	前期比 増減額	前期比 増減率
輸送機器事業	20,171	77.4%	10,393	66.8%	▲9,778	▲48.5%
産業機器事業	5,836	22.4%	5,118	32.9%	▲718	▲12.3%
その他事業	43	0.2%	41	0.3%	▲1	▲3.7%
連結売上高	26,051	100.0%	15,553	100.0%	▲10,497	▲40.3%

営業利益 (単位:百万円)	2020年3月期 通期		2021年3月期 通期			
	通期実績	構成比	通期実績	構成比	前期比 増減額	前期比 増減率
輸送機器事業	1,817	95.4%	18	149.2%	▲1,798	▲99.0%
産業機器事業	84	4.5%	▲12	▲103.3%	▲97	—
その他事業	2	0.1%	6	54.1%	+4	+154.1%
計	1,904	100.0%	12	100.0%	▲1,892	▲99.4%
消去・全社	▲49	—	▲52	—	▲2	—
連結営業利益	1,854	—	▲40	—	▲1,894	—

輸送機器事業：通期売上高・営業利益の推移



■ 売上高 : 前期比 ▼ ▲97億78百万円 ▲48.5%

■ 営業利益: 前期比 ▼ ▲17億98百万円 ▲99.0%

バス市場

前期比: ▲94億17百万円(▲55.8%)

- ▶ 首都圏バス用ICカードシステム更新需要の一巡により、運賃箱やICカードリーダー等の売上が大きく減少。
- ▶ 新型コロナウイルス感染拡大の影響による業界全体の設備投資抑制。



鉄道市場

前期比: ▲2億55百万円(▲11.8%)

- ▶ 前年にあった、消費税増税に伴う運賃データ書き換え需要が一巡。
- ▶ 米国の鉄道車両用灯具の納入一服。
⇒ 今期2022年3月期から、NY地下鉄車両向け大型案件の本格納入始まる。



自動車市場

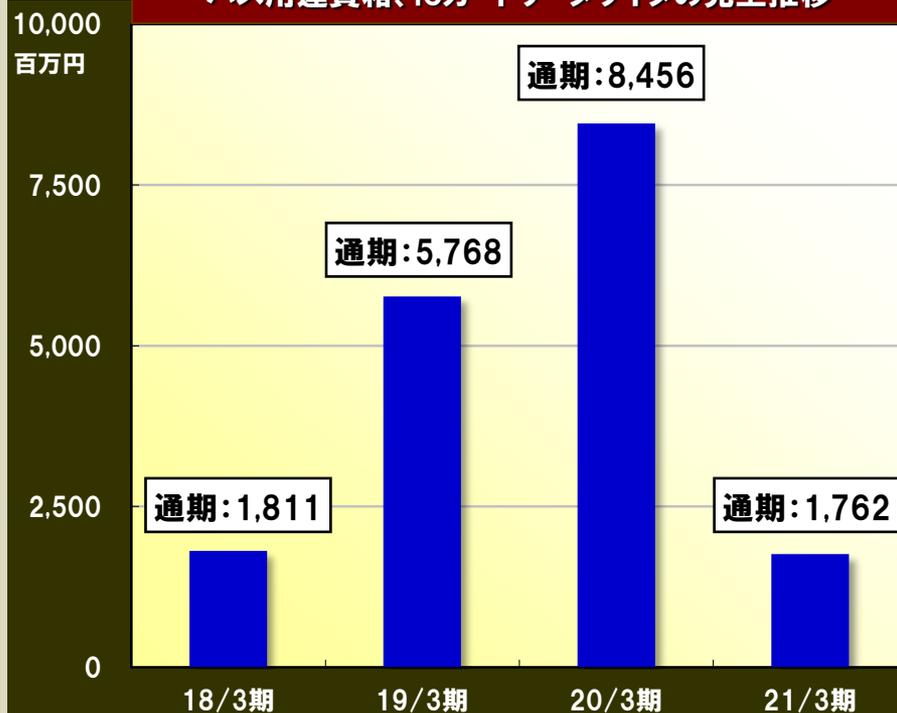
前期比: ▲1億05百万円(▲9.4%)

- ▶ トラックメーカー様の生産調整等の影響により、トラック用灯具の売上減少。



国内バス用運賃箱、ICカードリーダーライタ

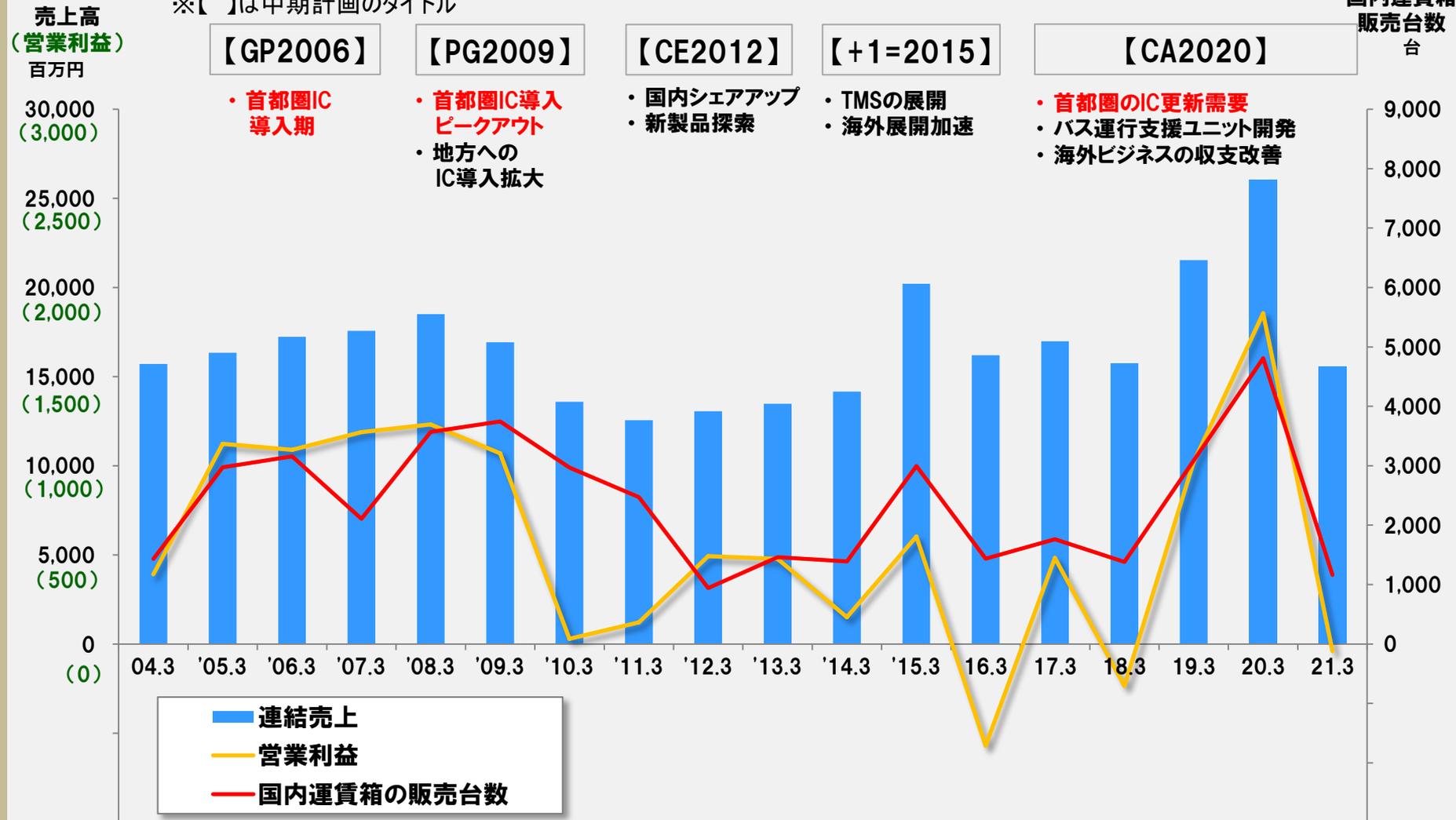
バス用運賃箱、ICカードリーダーライタの売上推移



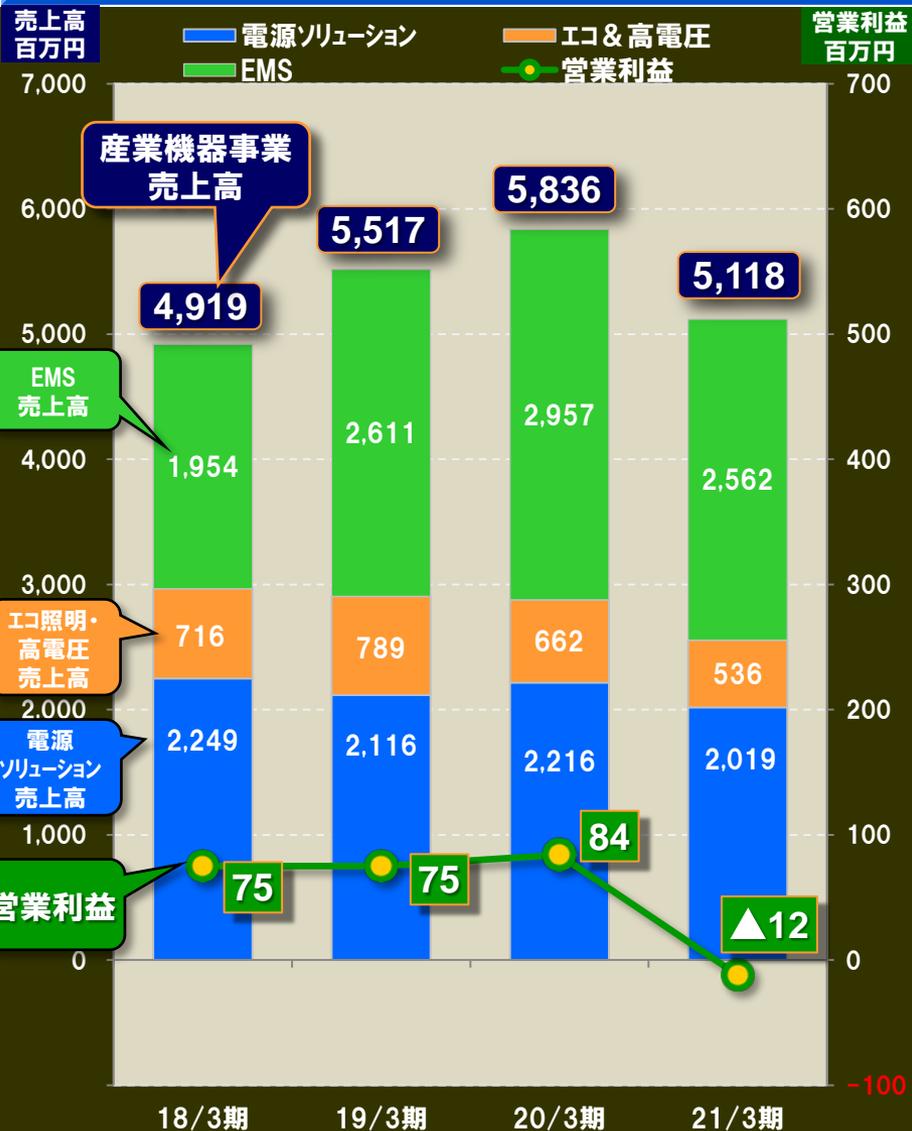
- 2021年3月期の売上高:17億62百万円(前期比 ▲66億94百万円 ▲79.2%)。
- 首都圏の更新需要案件はピークアウト。首都圏以外の地域への展開図る。
 - ▶ 首都圏以外の地域の更新需要への対応と併せ、ICカード未導入地域への展開進める。

▶ (ご参考): バス用運賃箱の販売台数と業績推移

※【 】は中期計画のタイトル



産業機器(エネルギー管理システム)事業:通期売上高・営業利益の推移



売上高 : 前期比 ▲ 7億18百万円 ▲12.3%

営業利益: 前期比 ▲ 97百万円 — %

電源ソリューション市場

前期比: ▲1億96百万円(▲8.9%)

- ▶ CATV基地局用無停電電源装置の売上は、大手CATV事業者様向けへの納入進み、増加。
- ▶ 上期を中心に、フォークリフトの需要が落ち込み、フォークリフト用充電器の売上が減少。



エコ照明・高電圧ソリューション市場

前期比: ▲1億26百万円(▲19.1%)

- ▶ 屋外看板の掛け替え需要低迷により、LED電源などの売上が減少。



EMS市場

前期比: ▲3億94百万円(▲13.4%)

- ▶ 上期を中心に、自動車メーカー様の生産調整の影響を受け、自動車向けプリント基板実装の受託が減少。

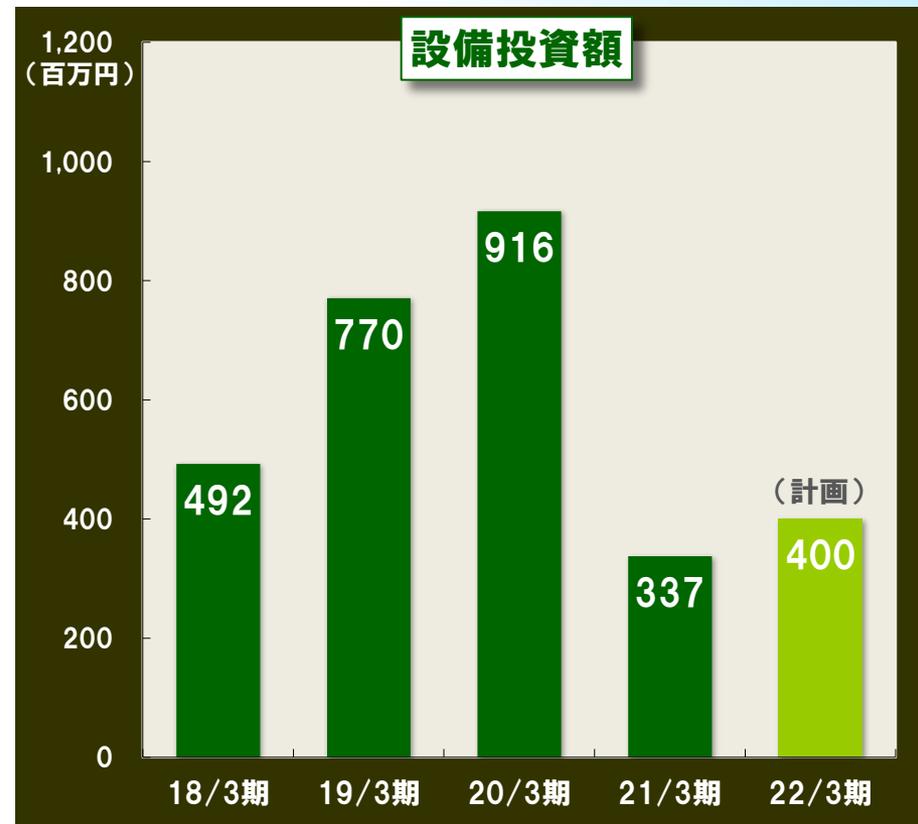
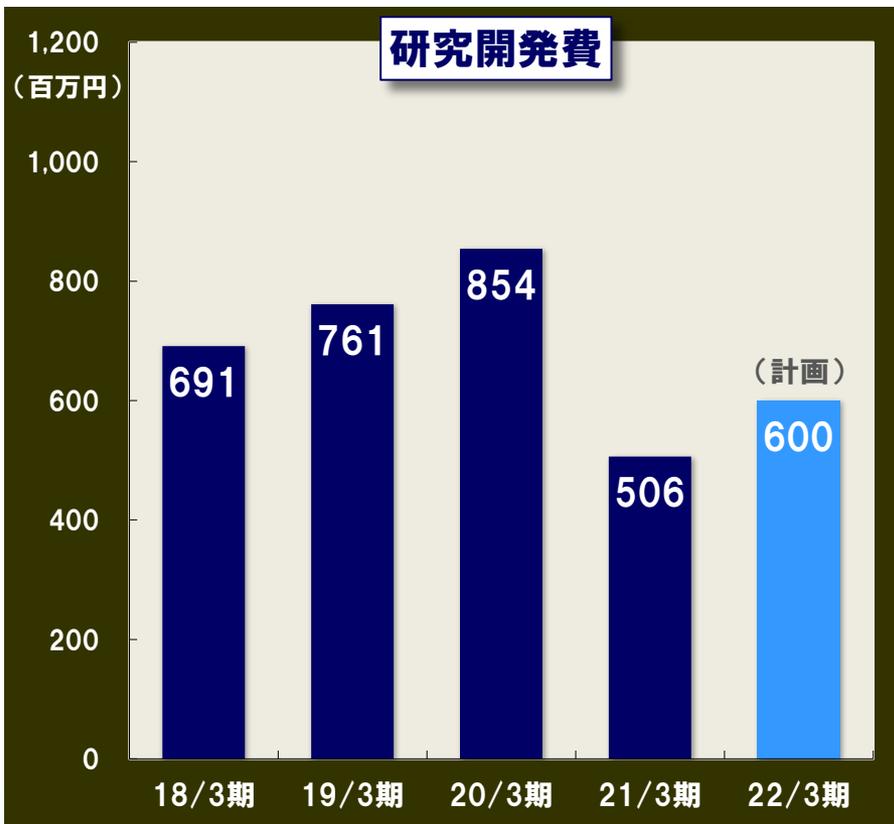


連結損益計算書

【連結P/L】	2020年3月期 通期		2021年3月期 通期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	26,051	100.0	15,553	100.0	▲10,497	
売上原価	19,770	75.9	12,250	78.8	▲7,520	
売上総利益	6,280	24.1	3,303	21.2	▲2,977	
販売管理費	4,425	17.0	3,343	21.5	▲1,082	給料及び賞与:▲301百万円 事務委託費:▲153百万円 出張旅費:▲127百万円 試験研究費:▲106百万円 運送費:▲72百万円等
営業利益	1,854	7.1	▲40	▲0.3	▲1,894	
営業外収益	54	0.2	110	0.7	+55	助成金収入:+48百万円 為替差益:+33百万円等
営業外費用	78	0.3	34	0.2	▲44	為替差損:▲25百万円 株式交付(公募増資)費用:▲12百万円等
経常利益	1,830	7.0	35	0.2	▲1,794	
特別利益	50	0.2	—	—	▲50	抱合せ株式消滅差益:▲43百万円等
特別損失	105	0.4	6	0.0	▲99	減損損失:▲75百万円 投資有価証券評価損:▲19百万円等
税金等調整前純利益	1,775	6.8	29	0.2	▲1,745	
法人税等合計	884	3.4	154	1.0	▲729	
当期純利益	891	3.4	▲124	▲0.8	▲1,015	

連結貸借対照表

【連結B/S】	2020年3月期末		2021年3月期末			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	11,233	75.9	11,746	77.6	+513	受取手形及び売掛金 : ▲1,086百万円 仕掛品 : ▲ 80百万円 現金及び預金 : +1,139百万円 商品及び製品 : + 173百万円 原材料及び貯蔵品 : + 110百万円 未収還付法人税等 : + 316百万円 等
固定資産	3,558	24.1	3,382	22.4	▲176	有形固定資産 : ▲ 151百万円 無形固定資産 : + 23百万円 投資その他の資産 : ▲ 48百万円
資産合計	14,791	100.0	15,129	100.0	+337	
流動負債	8,454	57.2	9,048	59.8	+594	未払法人税等 : ▲ 571百万円 電子記録債務 : ▲ 448百万円 未払金 : ▲ 387百万円 支払手形及び買掛金 : ▲ 337百万円 設備未払金 : ▲ 190百万円 賞与引当金 : ▲ 176百万円 未払消費税等 : ▲ 172百万円 短期借入金 : +3,071百万円 等
固定負債	1,259	8.5	1,167	7.7	▲91	長期借入金 : ▲ 64百万円 リース債務(固定) : ▲ 55百万円 従業員株式付与引当金 : + 25百万円 等
負債合計	9,713	65.7	10,216	67.5	+502	
純資産合計	5,078	34.3	4,912	32.5	▲165	その他有価証券評価差額金 : + 82百万円 利益剰余金 : ▲ 241百万円 等
負債・純資産合計	14,791	100.0	15,129	100.0	+337	



● **研究開発費:**

2021年3月期実績: 5億06百万円 (業績動向を踏まえ、2020/3期比減少。)

2022年3月期計画: 6億00百万円 (キャッシュレス決済対応、路線バス運行支援ユニット「LIVU」の機能拡充、エネルギー管理システム等の開発を進める予定。2021/3期比増加見込み。)

● **設備投資:**

2021年3月期実績: 3億37百万円 (社内ITインフラ投資が一段落し、2020/3期比減少。)

2022年3月期計画: 4億00百万円 (事業所内の設備更新や社内システムの機能改善等を予定。2021/3期比同水準の見込み。)

1. 2021年3月期 通期業績の概要:P 3~P13

▶ 2. 2022年3月期 通期業績予想・配当の状況:P15~P17

3. 長期ビジョン「VISION2030」・中期経営計画「CN2023」について
:P19~P31

【ご参考資料】:P33~P43

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 上期・下期別の業績推移
- 四半期別の業績推移

通期業績予想のポイント

▶ 増収増益見通し。

セグメント

前期比 増収増益予想：内容

輸送
機器

- 首都圏以外の地域で、バス用ICカードシステムの納入(新規導入案件、更新案件)を予定。
- 新500円硬貨発行に係る改造需要。
- 路線バス運行支援ユニット「LIVU」、カラーLED式行先表示器の拡販進める。
- 米国：NYの地下鉄車両用灯具を納入予定。
- 欧州：多様な決済手段に対応可能なキャッシュレス運賃収受機器を拡販。



産業
機器

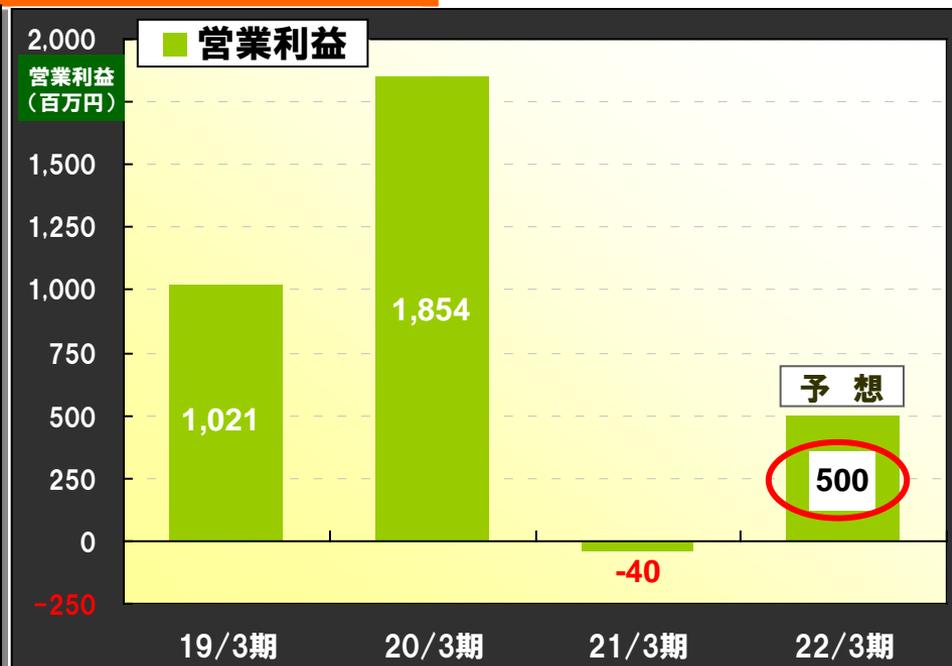
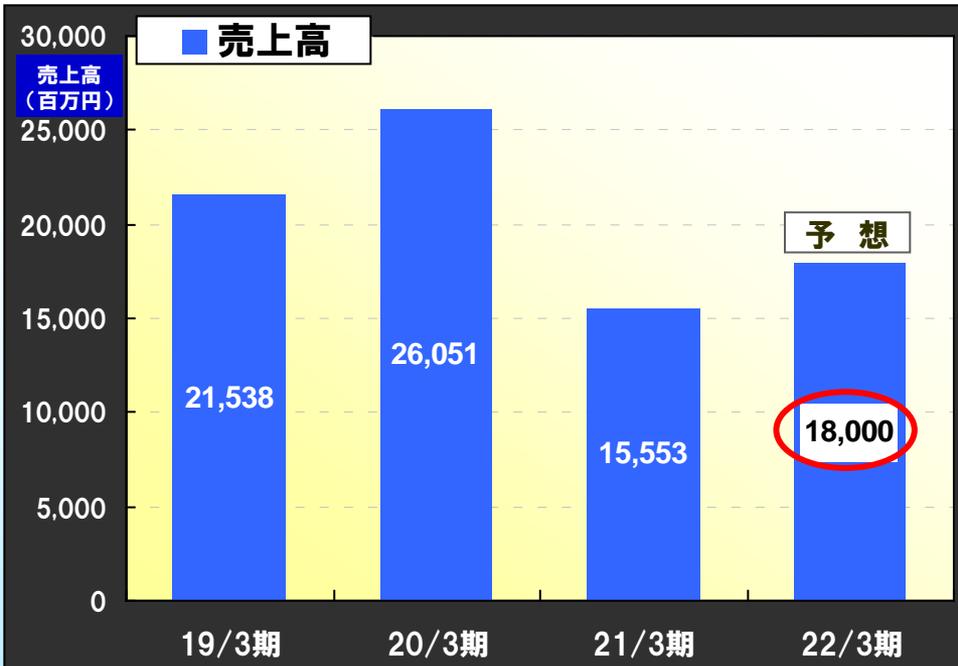
エネルギー
マネジメント
システム

- バッテリー式フォークリフト用充電器、CATV基地局用無停電電源装置等の増加見込む。

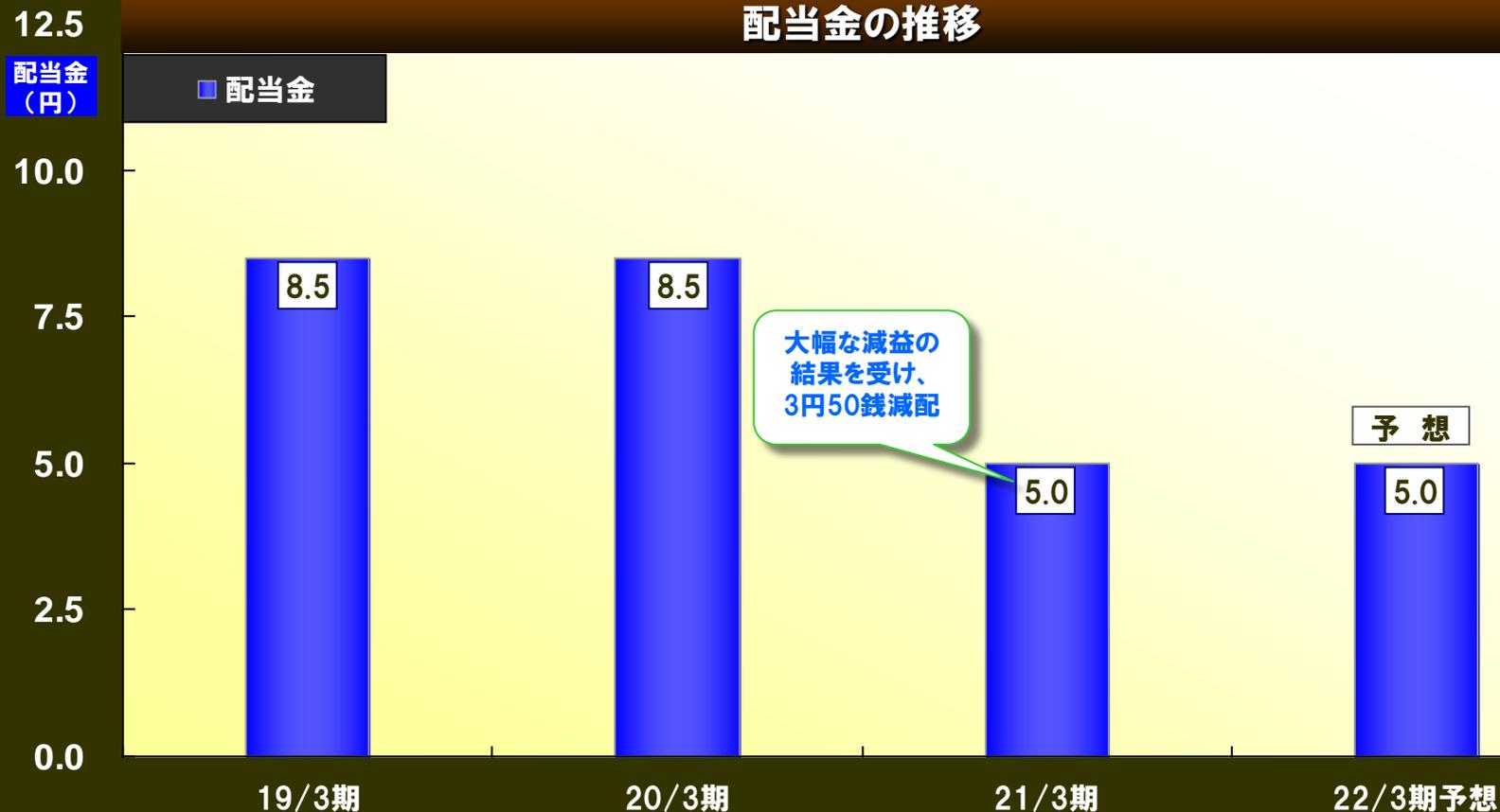


2022年3月期：通期業績予想

連結業績予想	2021年3月期 実績 (百万円)		2022年3月期 業績予想 (百万円)		前期比 増減額 (百万円)	前期比 増減率 (%)
		構成比 (%)		構成比 (%)		
売上高	15,553	100.0%	18,000	100.0%	+2,446	+15.7%
営業利益	▲40	▲0.3%	500	2.8%	+540	—
経常利益	35	0.2%	500	2.8%	+464	—
当期純利益	▲124	▲0.8%	200	1.1%	+324	—
E P S (円)	▲9円77銭	—	15円68銭	—	+25円45銭	—



配当金の推移



- 2021年3月期の配当は、3円50銭の減配となる5円00銭
- 2022年3月期の配当予想も、引き続き、5円00銭を維持
- 継続的かつ安定的な利益還元に努める

1. 2021年3月期 通期業績の概要:P 3~P13

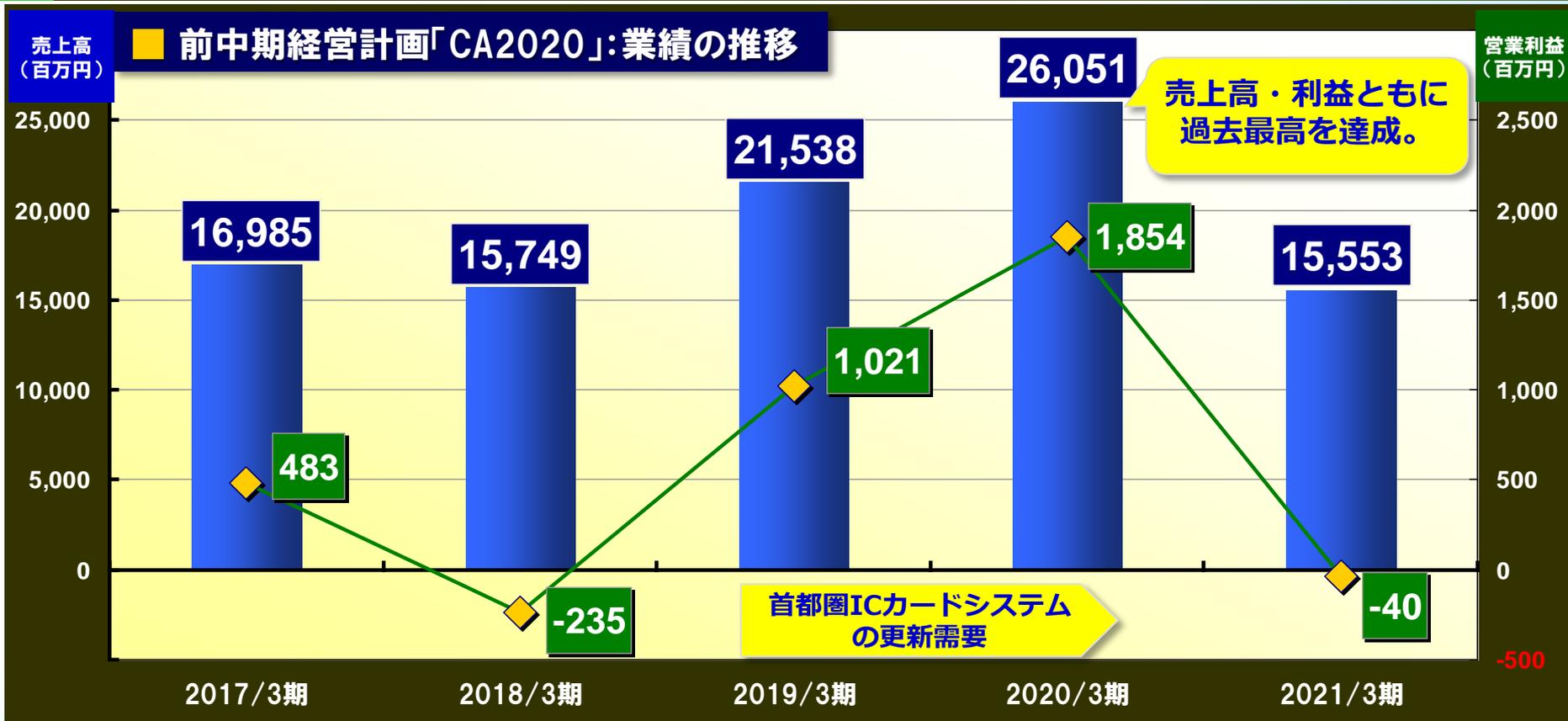
2. 2022年3月期 通期業績予想・配当の状況:P15~P17

▶ 3. 長期ビジョン「VISION2030」・中期経営計画「CN2023」について
:P19~P31

【ご参考資料】:P33~P43

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 上期・下期別の業績推移
- 四半期別の業績推移

前中期経営計画の振り返り



■ 今後の成長に向けた新たな成長ドライバーを開発



■ 2030年に向けた長期ビジョン

VISION2030

■ ビジョンステートメント

**変わりゆく社会に、つなぐ技術とアイデアで、
安全・安心、最適な日常を。**

■ 目指す姿

**モノとモノ・情報・サービスをつなぐことで、
今後の時代に求められる安全・安心でかつ、
最適な仕組みを実現する。**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



世界が直面する社会課題の解決に取り組みながら、SDGsを新たな事業機会創出のチャンスととらえ、持続可能なよりよい社会の実現に貢献してまいります。

社会課題

- ・ 労働力不足
- ・ 交通弱者の解消
- ・ 脱自家用車
- ・ 脱炭素社会の実現
- ・ EV化
- ・ 省エネ化
- ・ 災害への備え
- ・ インフラの維持管理
- ・ 再生可能エネルギー

【 2030年に向け、社会に提供していく価値 】

使いやすくシームレスな輸送システム

- ・ シームレスな決済・乗車
- ・ 輸送の効率化、運行支援
- ・ 乗換に関する最適な情報
- ・ スマールモビリティシステム

脱炭素社会を支える周辺技術

- ・ EV産業用車両向け電源ソリューション
- ・ IoTを活用したバッテリー遠隔監視機能等のエネルギーマネジメントシステム
- ・ EV市場向け基板実装

安全・安心な街づくり

- ・ 災害時にもインフラを動かし続けるためのシステム・サービス
- ・ 移動と目的地をシームレスにつなげる仕組み

< 事業を通じて達成に貢献したいSDGs目標 >



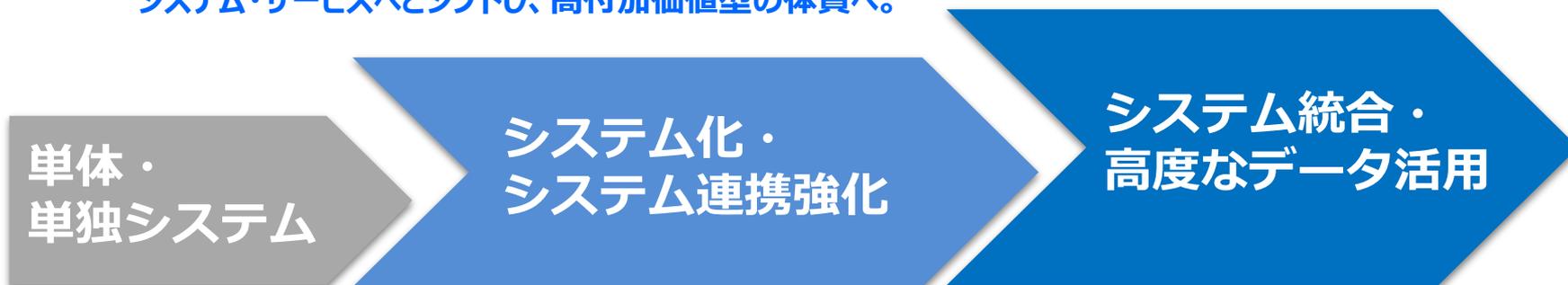
私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています



【 2030年に向けた、事業戦略 】

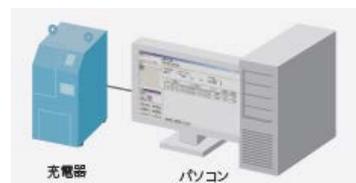
■ モノ+コトへの事業構造の変革

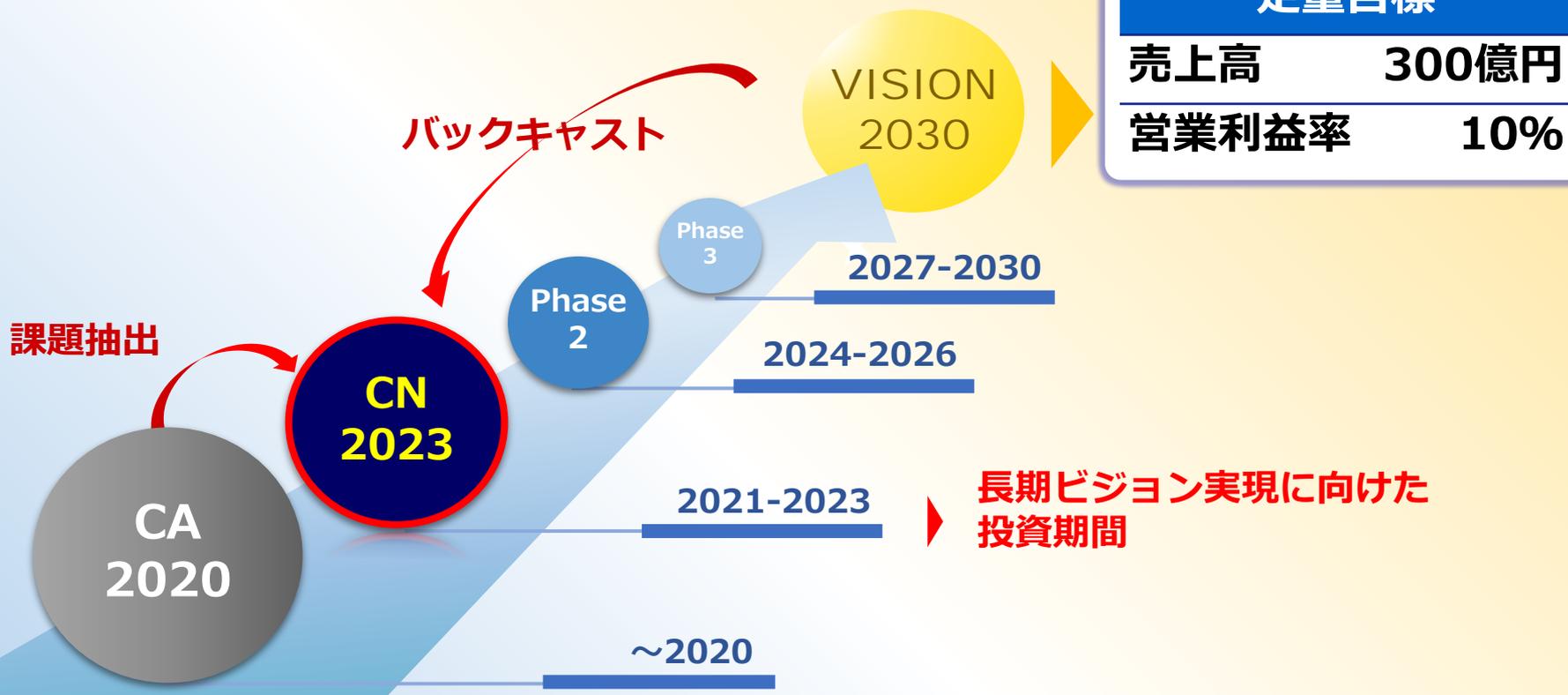
- ▶ ハードウェア中心の事業構造から、ハードを軸にソフトウェアを組み合わせたシステム・サービスへとシフトし、高付加価値型の体質へ。



■ 産業機器（エネルギーマネジメントシステム）事業を育成

- ▶ 世界的に温室効果ガス削減の動きが進むなか、世の中のEVシフトに対応。充電器ビジネスの横展開。
- ▶ IoTを活用したバッテリー遠隔監視機能等の開発を足掛かりに、エネルギーマネジメントシステムの充実を図り、再生可能エネルギーやスマートシティなど、新たなビジネス領域の開拓にも挑戦。





【2030を見据えた中期経営計画】

- ・ 2030年度VISIONからのバックキャストにより、中期経営計画を立案。
- ・ 長期ビジョン実現に向けたアクションプランとして、2021年度から2030年度までの10年間を、3つのフェーズに分けて取り組む。

中期経営計画(2021年度～2023年度)

CN2023

Challenge to the Next stage 2023
次のステージにチャレンジ

重点課題

- モノ+コトへの新たな事業展開
- MaaS、スマートシティに向けた新しい価値の提供
- 海外・国内ビジネスの新たな融合と広がり
- 事業構造の転換に向けた業務プロセスの抜本的変革
- 育成分野への経営資源のスムーズな移行

目標

売上高 200億円、営業利益率 5%



キャッシュレス決済の進展に対応し、多様な決済サービスを提供

キャッシュレス運賃収受器「LV-700」



乗車券購入アプリ「QUICK RIDE」

スマホで、チケット購入



乗降時は、見せるだけ



■ 多様な決済手段に対応可能なキャッシュレス運賃収受器「LV-700」の拡販

- ▶ 非接触クレジットカード、デビットカード、非接触ICカード、QRコード等の、多様なキャッシュレス決済に対応可能。
- ▶ ドイツの公共交通機関向けシステムインテグレーター IVU様にご採用いただく。
- ▶ 欧州市場に加え、日本国内を含めたグローバルな販売を目指す。

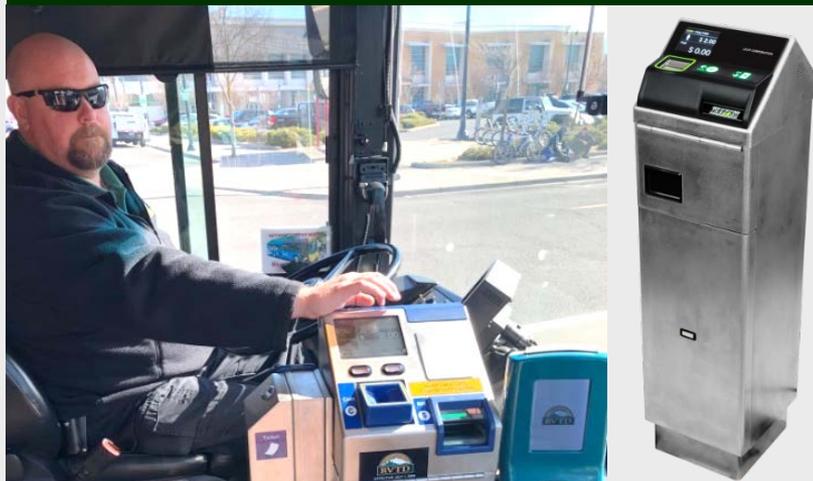
■ 定期券、回数券、一日乗車券等をスマホで購入できる「QUICK RIDE」のサービス拡大

- ▶ 養老鉄道様、東京ベイシティ交通様、大阪シティバス様、長良川鉄道様、岐阜バス様にご採用いただく。
- ▶ 引き続き、導入事業者様、利用者様の拡大を図る。

■ 今後も、アカウントベースチケットシステムの開発等、利用者様・事業者様の双方にとって快適な運賃収受サービスの実現を目指す。

米国市場

米国向けバス用AFC



米国向け鉄道車両用灯具



■ バス用AFC(自動運賃收受)システム

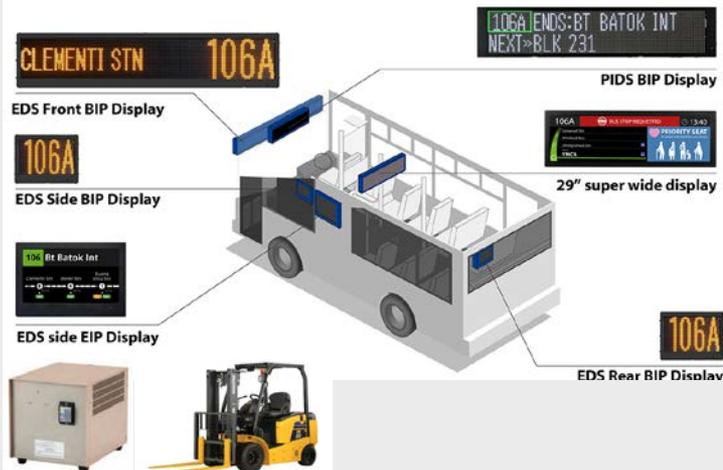
- 2019年9月に、新型運賃箱の市場投入を行い、営業活動強化。
 - ▶ 基本機能を絞り、オプション機能を追加する仕様にする事で、幅広いニーズへの対応が可能。
- 2021年4月に、**米国カリフォルニア州 NCTD様のAFC案件を落札。**
 - ▶ 来期2023年3月期に納入予定。
 - ▶ 公共投資の増加が見込まれる米国市場中心に、更なる受注拡大を目指す。

■ 鉄道車両用灯具

- NY通勤車両向けの納入に続き、**NY地下鉄車両向け大型案件を納入予定。**

アジア市場・欧州市場

アジア市場(シンガポール、タイ)



欧州市場



■ シンガポール

- 運賃箱と発券機については、現地で100%のシェア獲得。
- バス運行管理システムの保守・メンテナンスを継続。
- LED式行先表示器や液晶表示器の納入拡大。

■ タイ

- 現地の日系フォークリフトメーカー様向けを中心に、フォークリフト用充電器の販売堅調。

■ 欧州

- 公共交通機関向けキャッシュレス運賃収受機器の拡販。
 - ▶ 欧州市場に加え、日本国内含め、グローバルな販売めざす。

運行支援ユニット「LIVU」の拡販 ～ バス運行業務の自動化・軽減化・最適化 ～



● 【主な機能】

- ▶ GPS活用による、車内の自動案内放送機能、運賃表示器・運賃データの自動更新機能。
⇒ バス乗務員の運行業務負担を軽減。
- ▶ 運転席のディスプレイで、運行経路ナビ表示、停留所ごとのダイヤ時刻表示等、乗務員へのお知らせ機能。
⇒ リアルタイムで運行状況の確認が可能となり、安心・安全・正確な運行をサポート。
- ▶ バス車載機器から得られる乗客の乗降データ、車両運行データ（走行距離、燃費、所要時間等）など、バスの運行に関するあらゆるデータの収集、一元管理、目的に応じたアウトプットが可能。
⇒ 収集した様々なデータを活用することで、バス事業者様のオペレーションの最適化をサポート。



■ 路線バスの運行を支援するプラットフォーム型のユニット「LIVU (LECIP Intelligent Vehicle Unit)」の拡販推進。

■ バスの運行業務を支援する様々な機能の提供が可能。

■ バスの運行に関する様々なデータの活用によるデータソリューションサービスを展開していくことで、利用しやすい公共交通を目指す。

産業機器(エネルギー管理システム)分野の市場開拓

充電器ビジネスの新たな市場開拓

フォークリフト用充電器 (国内トップシェア)



エネルギー管理システム分野の開拓

IoTを活用した
保守システム



見える化

遠隔操作

LIVU応用

エネルギー管理
システム

遠隔監視・制御

電力制御

充電制御

ピークカット
ピークシフト

蓄電技術

太陽光×蓄電池

農業用機械



建設機械



スモールモビリティ



メンテナンスコストの低減



充電器

パソコン

エネルギー有効活用



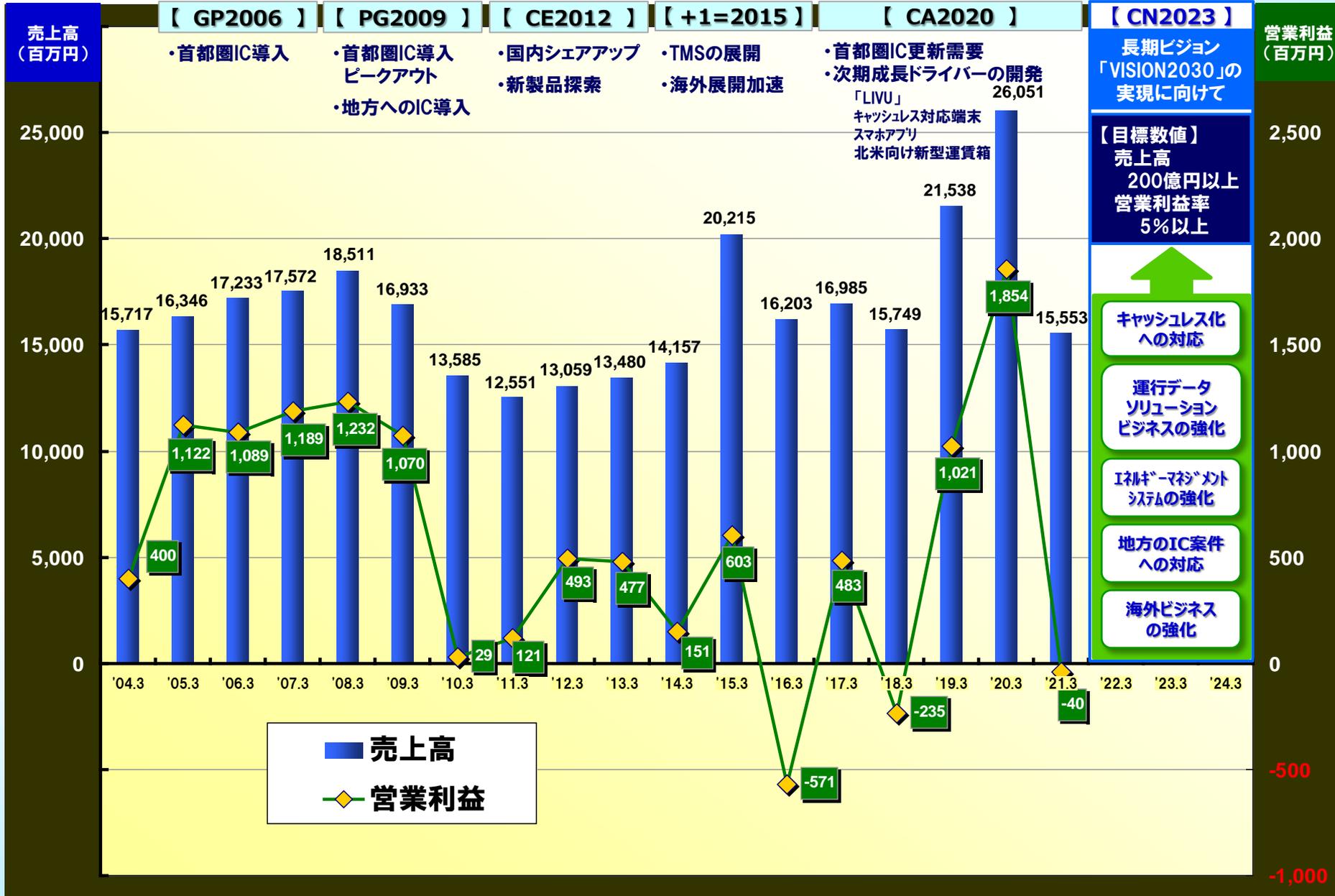
■ 充電器ビジネスの新たな市場開拓

- ▶ 温室効果ガス削減の動きが進む中、産業用車両の電動化が加速。
- ▶ これまでのバッテリー式フォークリフト用充電器での実績をベースに、各種産業用EV移動体、スモールモビリティ等、新たな分野への展開をめざす。

■ エネルギー管理システム分野の開拓

- ▶ これまでの電源ビジネスで、バッテリーに関する知見や電流・電圧のマネジメント技術を蓄積。
- ▶ IoTを活用したバッテリー遠隔監視機能等の開発を足掛かりに、エネルギー管理システムの充実を図り、再生可能エネルギーやスマートシティなど、新たなビジネス領域の開拓にも挑戦。

中期経営計画の推移



1. 2021年3月期 通期業績の概要:P 3~P13

2. 2022年3月期 通期業績予想・配当の状況:P15~P17

3. 長期ビジョン「VISION2030」・中期経営計画「CN2023」について
:P19~P31

【ご参考資料】:P33~P43

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 上期・下期別の業績推移
- 四半期別の業績推移

会社名	レシップホールディングス株式会社 (LECIP HOLDINGS CORPORATION)
設立	1953年3月
代表者	代表取締役社長 杉本 眞
本社所在地	岐阜県本巣市上保1260番地の2
資本金	11億9,095万円
発行済株式総数	14,178,200株
上場証券取引所	東証一部、名証一部(証券コード:7213)
連結対象会社	8社(国内4社、海外4社)
連結従業員数 (2021年3月末時点)	623名(国内:584名、海外39名)

グループ体制

レシップホールディングス株式会社
LECIP HOLDINGS CORPORATION

レシップ株式会社
LECIP CORPORATION

レシップエンジニアリング株式会社
LECIP ENGINEERING CORPORATION

レシップ電子株式会社
LECIP ELECTRONICS CORPORATION

USA
LECIP INC.

SINGAPORE
LECIP (SINGAPORE) PTE LTD

THAILAND
LECIP THAI CO., LTD.

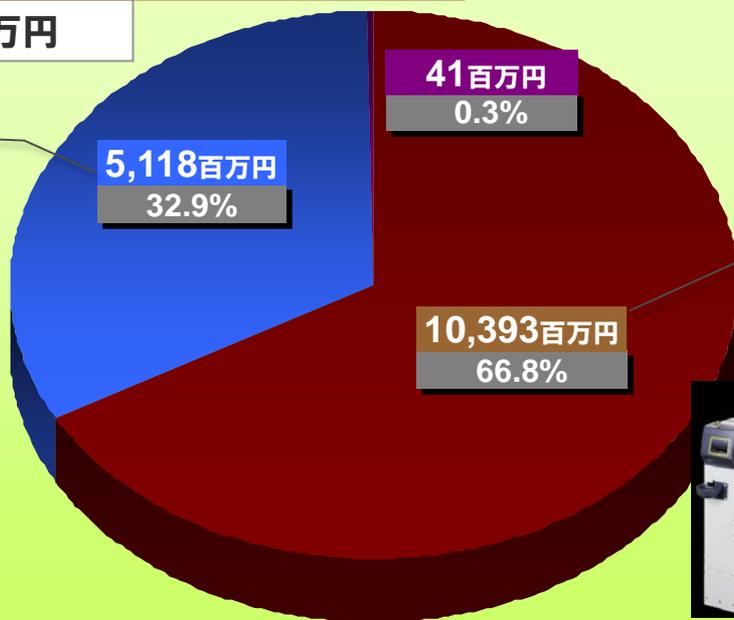
SWEDEN
LECIP ARCONTIA AB

輸送機器事業

産業機器事業 (エネルギー管理システム事業)

【ご参考】2021年3月期 通期の事業セグメント別売上高

21/3期 連結売上高: 15,553百万円



【産業機器 (エネルギー管理システム) 事業】
充電器、無停電電源装置、
LED電源、
プリント基板実装



■ 輸送機器
■ 産業機器
■ その他

【輸送機器事業】
バス・鉄道用運賃箱、
ICカードシステム、
OBC(液晶表示器)、
LED式行先表示機器、
車載用照明機器



輸送機器事業

● バス市場向け製品



バス用機器搭載イメージ図

- 国内唯一の、「バス用電装機器トータルサプライヤー」ワンストップソリューションを実現
- バス用ICカードシステムのパイオニア
- 多くの製品で国内トップシェアを獲得

● 鉄道市場向け製品



- ワンマン鉄道用機器と、車両用照明灯具を展開
- 鉄道用ワンマン機器は、国内90%以上のシェアを獲得

● 自動車市場向け製品



- 自動車用蛍光灯具のパイオニア、国内トップシェアを獲得
- LED灯具の拡販推進

産業機器(エネルギーマネジメントシステム)事業



フォークリフト用充電器



無停電電源装置・屋外用電源装置



LED電源と蛍光灯型LED灯具



プリント基板実装ライン

- フォークリフト用充電器で国内トップシェアを獲得
- CATV基地局・通信基地局向け無停電電源装置など、各種屋外用電源装置で強み
- LED電源、蛍光灯型LED灯具を展開
- 連結子会社 レシップ電子において、プリント基板実装事業を展開。自動車向けの受託が拡大

【ご参考】: 主な経営指標の推移

(単位: 百万円)

主な経営成績 指標の推移	2004/3期	2005/3期	2006/3期	2007/3期	2008/3期	2009/3期	2010/3期	2011/3期	2012/3期	2013/3期
売上高	15,717	16,346	17,233	17,572	18,511	16,933	13,585	12,551	13,059	13,480
営業利益	400	1,122	1,089	1,189	1,232	1,070	29	121	493	477
営業利益率 (%)	(2.5)	(6.9)	(6.3)	(6.8)	(6.7)	(6.3)	(0.2)	(1.0)	(3.8)	(3.5)
経常利益	390	1,124	1,086	1,191	1,208	1,104	64	154	514	526
経常利益率 (%)	(2.5)	(6.9)	(6.3)	(6.8)	(6.5)	(6.5)	(0.5)	(1.2)	(3.9)	(3.9)
当期純利益	▲100	654	622	668	686	521	41	46	132	292
当期純利益率 (%)	(▲0.6)	(4.0)	(3.6)	(3.8)	(3.7)	(3.1)	(0.3)	(0.4)	(1.0)	(2.2)
総資産	10,267	10,529	10,512	11,533	11,470	10,417	10,521	9,698	10,347	9,791
純資産	1,888	2,519	3,895	4,408	4,995	5,339	5,289	5,275	5,308	4,755
自己資本比率 (%)	(18.4)	(23.9)	(37.1)	(38.2)	(43.5)	(51.2)	(50.3)	(54.4)	(51.3)	(48.6)
EPS(円)	▲9.02	53.85	48.14	52.34	53.69	40.80	3.27	3.67	10.40	23.43
ROE (%)	—	29.7	19.4	16.1	14.6	10.1	0.8	0.9	2.5	5.8
BPS(円)	169.18	220.83	299.82	344.91	390.83	417.74	413.82	412.80	415.38	438.69

※2014年4月を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。
株式分割前のEPS、BPSにつきましても、株式分割後の株数の基準でもって、算定し直し、現在と同じ基準で表示を行っております。

2014/3期以降の
続きは、次ページへ

【ご参考】: 主な経営指標の推移

(単位: 百万円)

主な経営成績 指標の推移	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期 予想
売上高	14,157	20,215	16,203	16,985	15,749	21,538	26,051	15,553	18,000
営業利益	151	603	▲571	483	▲235	1,021	1,854	▲40	500
営業利益率(%)	(1.1)	(3.0)	(▲3.5)	(2.8)	(▲1.5)	(4.7)	(7.1)	(▲0.3)	(2.8)
経常利益	164	779	▲649	354	▲248	1,030	1,830	35	500
経常利益率(%)	(1.2)	(3.9)	(▲4.0)	(2.1)	(▲1.6)	(4.8)	(7.0)	(0.2)	(2.8)
当期純利益	▲98	227	▲1,378	50	▲454	438	891	▲124	200
当期純利益率(%)	(▲0.7)	(1.1)	(▲8.5)	(0.3)	(▲2.9)	(2.0)	(3.4)	(▲0.8)	(1.1)
総資産	12,677	14,431	13,173	13,048	12,465	16,445	14,791	15,129	—
純資産	4,614	4,637	3,277	3,499	2,985	3,427	5,078	4,912	—
自己資本比率(%)	(36.4)	(32.1)	(24.9)	(26.8)	(24.0)	(20.8)	(34.3)	(32.5)	—
EPS(円)	▲9.05	20.76	▲125.25	4.59	▲40.91	38.75	74.39	▲9.77	15.68
ROE(%)	▲2.1	4.9	▲34.8	1.5	▲14.0	13.7	21.0	▲2.5	—
BPS(円)	422.21	422.30	297.03	315.51	267.56	301.92	398.64	385.17	—

※2020年3月期に、新株発行(138万株)増資を行っております。

【ご参考】:年間業績の推移



【ご参考】: 上期・下期別の業績推移



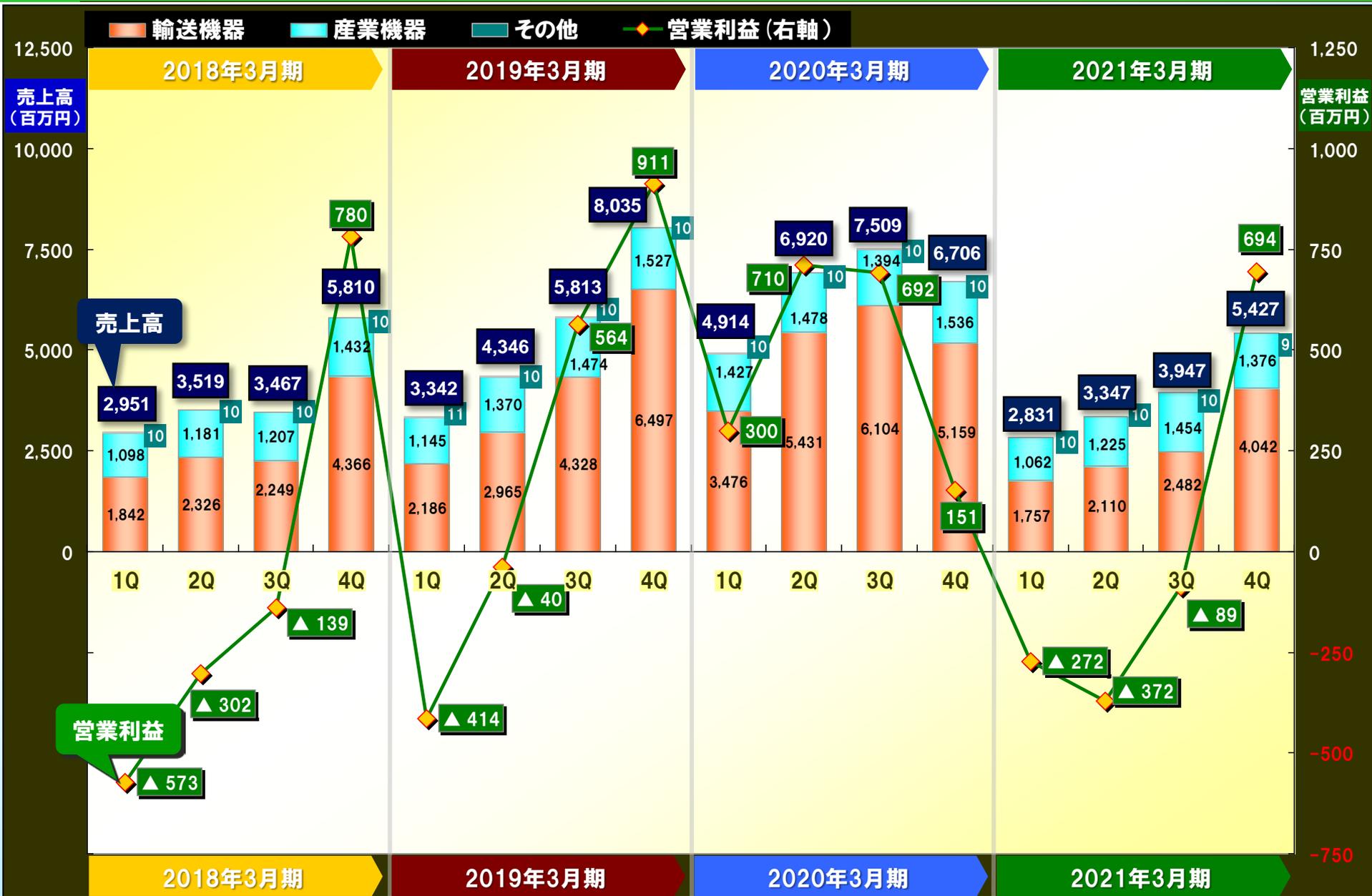
【ご参考】: 上期・下期別の業績推移

(単位: 百万円)

売上高	2018年3月期			2019年3月期			2020年3月期			2021年3月期		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
輸送機器	4,169	6,616	10,785	5,151	10,826	15,977	8,907	11,263	20,171	3,868	6,524	10,393
産業機器	2,280	2,639	4,919	2,515	3,001	5,517	2,906	2,930	5,836	2,288	2,830	5,118
その他	21	21	43	22	21	43	21	21	43	21	20	41
売上高合計	6,471	9,277	15,749	7,689	13,849	21,538	11,835	14,215	26,051	6,178	9,375	15,553

営業利益	2018年3月期			2019年3月期			2020年3月期			2021年3月期		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
輸送機器	▲802	535	▲267	▲441	1,427	986	932	884	1,817	▲558	577	18
産業機器	▲50	126	75	8	67	75	102	▲18	84	▲58	45	▲12
その他	2	4	6	3	1	5	3	▲0	2	3	3	6
全社・消去	▲26	▲24	▲50	▲25	▲20	▲46	▲27	▲22	▲49	▲30	▲21	▲52
営業利益合計	▲876	640	▲235	▲455	1,476	1,021	1,011	843	1,854	▲644	604	▲40

【ご参考】: 四半期別の業績推移



【ご参考】：四半期別の業績推移

(単位:百万円)

売上高	2018年3月期				2019年3月期				2020年3月期				2021年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q												
輸送機器	1,842	2,326	2,249	4,366	2,186	2,965	4,328	6,497	3,476	5,431	6,104	5,159	1,757	2,110	2,482	4,042
産業機器	1,098	1,181	1,207	1,432	1,145	1,370	1,474	1,527	1,427	1,478	1,394	1,536	1,062	1,225	1,454	1,376
その他	10	10	10	10	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9
売上高合計	2,951	3,519	3,467	5,810	3,342	4,346	5,813	8,035	4,914	6,920	7,509	6,706	2,831	3,347	3,947	5,427

営業利益	2018年3月期				2019年3月期				2020年3月期				2021年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
輸送機器	▲515	▲286	▲168	703	▲386	▲54	529	897	268	664	709	175	▲215	▲343	▲116	693
産業機器	▲48	▲1	39	86	▲16	24	45	21	44	57	▲4	▲13	▲42	▲16	34	10
その他	1	1	1	2	1	1	0	0	1	1	0	▲1	1	2	2	1
全社・消去	▲11	▲15	▲12	▲12	▲13	▲12	▲11	▲8	▲14	▲13	▲12	▲9	▲16	▲14	▲10	▲11
営業利益合計	▲573	▲302	▲139	780	▲414	▲40	564	911	300	710	692	151	▲272	▲372	▲89	694

LECIP

GROUP

レシップホールディングス株式会社

【資料お問合せ先】

管理本部 経営管理部

電話番号：(058)323-7647

【将来予測について】

本資料のうち業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。